

日语综合阅读文选

にほんご

3

日语综合阅读文选

—3—

陈为瑜 编注
高可夫 审校

科学技术文献出版社重庆分社

日语综合阅读文选 3

陈为瑜 编注

高可夫 审校

责任编辑 陈方

科学技术文献出版社重庆分社 出版
重庆市市中区胜利路132号

新华书店重庆发行所 发行
中国科学技术情报研究所重庆分所印刷厂 印刷

开本:787×1092毫米1/32 印张:4.75 字数:10万
1988年5月第1版 1988年5月第1次印刷
印数:1-3600

ISBN7-5023-0182-8/G·29 定价:1.15元

前 言

阅读是学习语言的重要手段之一，也是提高听、说、写等语言技能的基础。因此，必须通过大量阅读实践来培养阅读能力。

为了向广大日语学习者指供一套辅助阅读材料，我们从日本中小学教材和其他原版书刊中精选出范文85篇，汇编成这套《日语综合阅读文选》，并由浅入深，分四册加注出版。内容包括科普和新技术48篇，日常生活和文化生活21篇，故事3篇，其他13篇。文章短小精练，语言规范，题材新颖，内容广泛；知识性、趣味性强；疑难点均有详细注释。各册附有词汇表，供读者查阅。

本《文选》适用于高等院校非日语专业本科生、研究生和广大日语学习者作泛读材料或快速阅读材料。

本《文选》在编注过程中承蒙四川外语学院日语系热情提供资料，在此表示诚挚的谢意。

由于编者水平有限，书中可能有不妥或错误之处，恳请读者批评指正。

编 者 1987.1

目 录

- 一、火事を防ぐ……………(1)
 预防火灾
- 二、色さいとくらし……………(5)
 色彩与生活
- 三、お金の話……………(9)
 话说钱
- 四、化学……………(13)
 化学
- 五、ロケットの構造……………(18)
 火箭的构造
- 六、温帯の生活……………(22)
 温带的生活
- 七、道具から機械へ……………(28)
 从工具到机器
- 八、落ちた花たば……………(31)
 落地的花束
- 九、数学と完全性……………(35)
 数学与完整性
- 十、温度と物質の状態……………(40)
 温度与物质的状态
- 十一、わたしと読書……………(45)
 我的读书生活
- 十二、新発明のマクラ……………(49)

新发明的枕头	
十三、破傷風菌のばいよう	(56)
破伤风菌的培养	
十四、責任というもの	(62)
谈谈责任	
十五、記おくについて	(67)
关于记忆	
十六、科学文明の中の人間	(73)
科学文明中的人类	
十七、正直に生きるように	(79)
要正直地生活	
十八、市場の拡大がなければ失業問題は解 決しない	(84)
不扩大市场就不能解决失业问题	
十九、限りなく人間くさい機械をつくりたい	(90)
想制造得心应手的机器	
二十、地震予知の意味(一)	(96)
地震预报的意义(一)	
二十一、地震予知の意味(二)	(103)
地震预报的意义(二)	
词汇表	(110)

一 火事を防ぐ

わたしたちの市のしょうぼうのしくみは、どのようになっているのでしょうか。

おそろしい**火事** わたしたちの市では、三十年ほどまえに、大きな火事がありました。

風の強い冬の夜、まちの西から出た火事は、見つけるのがおくれたうえ、家がたてこんでいたため、もえひろがりました。①

しょうぼうだんの人びとは、ポンプをひいてかけつけました。しかし、ポンプの数が少ないうえに、道がせまくて、火事場にポンプが近よれないところもありました。②

また、消火せんが少なく、いどや池の水をつかいましたが、すぐに水がなくなってしまいました。火事をけすしごとがおくれて、わずかのあいだに、二百けんあまりの家がやけてしまいました。③

しょうぼうしょ 大火事のあと、市では、しょうぼうのしくみをたてなおし、しょうぼうだんのほかに、しょうぼうしょをおきました。

しょうぼうしょは、火事のおこりやすい④まちのなかほどにつくりました。いまでは、まちがひろくなったので、二かしょにしょうぼうしょのしゅっちょう所ができています⑤。しゅっちょう所は、まちのはしにあって、どこに火事がおこっても、五分とたたないうちに⑥、かけつ

けることができます。農家の多いところの火事のときも、しゅっちょう所のしょうぼう自動車は、まちの中を通らずに早くかけつけることができるようになっていきます⑦。

しょうぼうしょとしゅっちょう所には、ぜんぶで百人ぐらいの人がいます。こうたいで、夜も昼もつとめていて、いつでも出動できるようになっています。

大がたのポンプ自動車が四台、ほそい道も走れる小がたのポンプ自動車が三台あります。ちかごろ、油をつかう工場や高いたてものがふえたので、化学消防車やはしご車もそなえました。きゅうきゅう車も二台あります。

しょうぼうだん　しょうぼうだんは、しょうぼうしょと力をあわせて、火事をふせぐしごとをします。⑧市ぜんたいが十六のぶんだんに分かれていて、うけもちのくいきがきまっています⑨。ぶんだんのたてものには、ポンプ自動車がそなえてあります。しょうぼうだんの人たちは、ふだんはじぶんの家のしごとをしています。火事がおこると、しごとをやめて、ポンプ自動車で、すぐ火事場へかけつけます。また、日をきめて、火事をけすくんれんをしたり、ポンプ自動車の手入れをしたりします。⑩

注　　釋

① “……出た火事は、見つけるのが……うえ、……ため、もえひろがりました。”(……由于发现晚了，再加上房屋密集，火蔓延开了。)用言连体形十うえ(に)，惯用型，表示在某一基础上再加上……，意为“不但……，而且……”，“又……又……”，其中的“うえ”是形式体言，前

接一个句子后相当于一个接续助词。形式体言“ため”，接用言连体形后，可以表示目的或原因，本句是表示原因。本句“ため”前有两个并列成分，即：“見つけるのがおくれた”和“家がたてこんでいた”。

② “しかし、ポンプの数が少ないうえに、……火事場にポンプが近よれないところもありました。”（但是，由于消防车数量少，加上路面狭窄，有的地方消防车接近不了火灾现场。）“……うえに……”参考注1。“近よれない”为“近よる”的可能态的否定形。“ところ”在此不是形式体言，而是实质性的体言。

③ “……わずかのあいだに、二百けんあまりの家がやけてしまいました。”（……顷刻之间，两百多幢房屋就化成了灰烬。）“わずかのあいだに”，词组，相当于副词。“けん”，接尾词，表示房屋的幢数。“……てしまいました”表示动作无可挽回，意为“烧掉了”。

④ “おこりやすい”，意为“容易发生”，接尾词“やすい”接动词连用形后，表示“易于……”。

⑤ “二か所にしょうぼうしょのしゅっちょう所ができています。”（在两处设置了消防分署。）“か所”，名词，接数词后表示“……处（地方）”。

⑥ “五分とたたないうちに”，词组，做连体修饰语用，意为“不到五分钟的工夫”。数词或表示时间的名词接“と+たたない”（自动词经つ的否定形）表示时间经过“不到（过）……”的程度。一般所指的量不大。另外，数量词+と+动词未然形+ないの句型也属此类。如：こんな難しい論文が読める学生はこの学校に二人といないだろう。（能看懂这样难的论文的学生在这个学校没第二个吧。）

⑦ “……まちの中を通らずに、早くかけつけることができるようになっていきます。”(不经过城里就能迅速赶到。)”通らず”的“ず”为否定助动词“ぬ”的中顿形，其后加上补格助词“に”构成连用修饰语，表示方式。“……ようになっている”，用以说明事物的情况、结构、状态如何。“ように”是比况助动词“ようだ”的连用形，表示示例。本句型常与可能动词连用，表示能力。

⑧ “消防団は、消防所と力をあわせて、火事をふせぐしごとをします。”(消防队与消防所同心协力担负防火工作。)”力をあわせる”，词组，“协作，同心协力”之意。

⑨ “……うけもちのくいきがきまっています。”(固定了责任区。)

⑩ “また、日をきめて、……をしたり、……をしたりします。”(另外，还规定日期，进行灭火演习或是维修消防车。)

二 色さいとくらし

にぎやかな町の通りを歩いているとき、わたしたちは、ふと店先に足を止める①ことがある。そこには、赤、青、黄、緑。さまざまないろどり②の洋服、かばん、ぼうし、ハンカチなどがきれいにならんでいる。その美しいいろどりを見ていると、楽しい気持ちになる。これらの色は、たいていは、人間が作って着色したものである。

むかしは、今のように自由に色を作り出すことができなかった。草のしるや鉱物をくだいたものなど、自然にあるものの色をそのまま利用して、ほかのものに着色していた。ところが、十九世紀の半ばに、イギリスで、コールターからむらさき色が作られた③。それ以来、色を合成することができるようになった。今では、何万色もの色を作り出せるようになっている。④

色は、色合いによって、人にあたえる感じがちがう。⑤わたしたちは、それぞれの色の持つ感じをうまく利用して、色さいを生活の中に生かしている。⑥

赤は、見る人を強くしげきし、真っ先に人の目につく色である。⑦それで、郵便ポストや消防自動車、火災報知機などは赤くぬってあるし、交番や病院の入り口には、赤い色のランプがつけてある⑧。町の交差点などに立っている信号機では、赤は、「止まれ」を示す約そくの色になっている。⑨

青は、冷たく、すずしい感じがする色で、見る人の心

に落ち着きをあたえる。⑩それで、細かい仕事をするための事務づくえや作業台を、うす青くぬることがある。電車の運転室なども、全体がうす青くぬってあることが多い。

黄色は、明るく、広がっていくような感じをあたえる色で、ものをはっきりと目立たせる⑪。それで、子供たちの通学用のぼうしやかさなどに、黄色を用いることが多くなった。

色を組み合わせる⑫と、さまざまな効果を生み出すことができる。黄色のような明るい色と黒とが組み合わせると⑬、はっきりと人目につくようになる。道路標識に黄色と黒とでかいたものがあるのは、そういう効果を利用してゐるのである。⑭また、赤と緑、だいたいと青などの組み合わせは、おたがいに相手の色を強め合うので、あざやかに見える。緑の木立の中に赤い屋根があると、遠くからでもあざやかに見える。⑮

色さいは、人々にいろいろな感じをあたえ、生活に役立っている。色さいを上手に使って、わたしたちのくらしを、いっそう楽しく、ゆたかなものにしていきたいものである⑯。

注 釋

① “足を止める”，词组，停住脚步。

② “いろどり”，名词，色彩。

③ “……コールタールからむらさき色が作られた。”（从煤焦油中提取紫色。）

④ “今では、何万色もの色が作り出せるようになっている。”（现在已能合成出几万种颜色。）提示助词“も”接

数词后，表示增加很多或超出预想，即强调数量之多。

⑤ “色は、色合いによって、人にあたえる感じがちがう。”(颜色配合不同，给人的感受也不同。)” “……によって違う”，惯用型，“因……而异”之意。

⑥ “わたしたちは……利用して、色さいを生活の中に生かしている。”(我们巧妙地利用各种颜色给人们的感受，让色彩来美化人们的生活。)

⑦ “赤は、見る人を強くしげきし、真っ先に人の目につく色である。”(红色，强烈刺激人的感官，最为醒目。)

“目につく”，词组，“引人注目，显眼，看到”之意。

⑧ “赤い色のランプがつけてある”，译为“点着红灯”。“ランプをつける”，词组，意为“开灯”。

⑨ “町の交差点などに立っている信号機では、赤は、「止まれ」を示す約そくの色になっている。”(城市交叉路口设立的信号机，都规定红色来表示「禁止通行」的颜色。)

⑩ “青は、冷たく、……がする色で、見る人の心に落ち着きをあたえる。”(蓝色，属冷色，有爽目之感，可使人们望上去心情平静。)” “……がする” 词组，主语多用“声、音、気、感じ、匂い”一类词，有耳、口、鼻、皮肤等感受到“的意思”。

⑪ “目立たせる”为“目立つ”之使役态，意为“使显眼”，引人注目”。

⑫ “色を組み合わせる”，词组，“调色”之意，“組み合わせる”是由“組み+合わせる”合成的复合他动词，意为“搭配，配合，组合”。

⑬ “組み合わせる”，自动词，意为“组合，配合”。

⑭ “道路標識に黄色と黒とでかいたものがあるのは，

……のである。”(路标用黄色间黑色书写,就是利用这一效果。)句子+のである,惯用型,是用来表示说话人(作者)的看法、态度或进行解说的一种惯用型。

⑮ “緑の木立の中に……があると,……でもあざやかに見える。”(绿树丛中的红屋顶,即使很远也看得清楚。)” “遠くからでも”意为“即使从远处看”。副助词“でも”接在助词“から”后表示让步意义。“遠く”为“遠い”的连用形,在此作名词使用。

⑯ “色さいを上手に使って,……を……にしていきたいものである。”(我是多么希望能很好地利用色彩,使我们的生活变得更加愉快,更加丰富多彩啊!)用言连体形+ものだ,惯用型,也可以表示感叹,相当于汉语的“真……呀!”,“多么……呀!”。“ものた”也可以说成“もんだ”。又如:“この汽車ははやいもんだ”,意为“这趟火车真快呀”!

三 お金の話

わたしたちは、毎日、お金を使って生活しています。お金なし①に生活は成り立ちません。そこで、わたしは、お金について調べてみたり、考えてみたりしました。そのことを、これから発表します。

大むかしには、お金というものはありませんでした。物と物とを取りかえっこしてくらしていたのです。②それでは不便なので、何かを持っていけば、どんなものでも取りかえられるもの、そんなものがあれば便利だと思うようになりました③。そうして、今のお金に似たものが考え出されました④。

中国では、むかし、貝が使われました。それで、お金に関係のある漢字には、みな貝という字が付いています。たとえば、貨、貴、財、資、損、賃、費などです。日本では、いねを使いました。「値段」の「ね」は、「いね」の「ね」から来ているという説があるそうです。江戸時代になっても、武士の給料を米の量で決めていたのは、そのなごりだと思います。

そうしているうちに⑤、金属でお金を作ることを考えました。

金属には、価値があるし、くさったりこわれたりしません。⑥決まった分量に分けることもできるし、持ち運びも便利だからです。日本でも、今からおよそ千三百年前、元明天皇⑦のときに、銀と銅で作りました。その後、銀

貨、銅貨のほかに、金貨も作られました。

ところが、金属のお金でも、たくさんになる⑨と重くて不便です。そこで、紙に印刷したものを使うようになりました。これが、今日使われているおさつです。

また、銀行に預金があれば、お金と同じはたらきをする小切手などを使うことができます⑩。これなら、手元にお金がなくても、物を買うことができます。

ところで、小切手などに金額を書くときには、一、二、三、十の代わりに、壹、貳、叁、拾という字を用いることがあるそうです。読みちがいや書きちがいを防ぐためだということですよ⑪。

わたしは、お金のことを調べてみて、お金がどんなに便利なものかよく分かりました⑫。お金のことを中心とした経済学という学問もあるということです。わたしは、これから、お金のことをもっとくわしく調べてみたいと思いました⑬。

わたしの発表は、これで終了です。

注 釋

① “なし” [無し] 为文语形容词，相当于汉语的“没有”、“無”，可直接接名词，构成词组，如：“異常なし”，意为“无异常”。

② “物と物とを取りかえっこしてくらしていたのです。”(相互間以物易物来维持生活。) “とりかえっこして”意为“相互交换”，在句中作连用修饰语，表示方式方法。该词由动词连用形とりかえ+接尾词“っこ” + “する”构成。接尾词“っこ”接动词连用形后表示相互、彼此从事

某一动作，译作“相互”、“互相”……。如：教えっこする。意为“相互教”。助けっこする意为“相互帮助”。

③“それでは不便なので、……どんなものともでも取りかえられるもの、……ようになりました。”(人们想，这么做不方便。若是有一种东西可以随便同别的东西交换，那么带上它就方便了。)句中的“そんなもの”指的就是“どんなものともでも取りかえられるもの”，两个“もの”是同格关系。“そんな”一词在此起了概括、突出前一个“……もの”的作用。“取りかえられる”是“取りかえる”的可能态。

④“考え出されました”是“考え出す”的被动态过去时。

⑤“そうしているうちに”(在这个过程中)，动词连用形+ている+うちに，表示“在……阶段”，“在……过程中”。

⑥“金属には、価値があるし、くさったり、こわれたりしません。”(金属既有价值，又不破损。)*“し”为接续助词，表示“既……也……”；“又……，又……”。

⑦“元明天皇(げんめいてんのう)”，661~721，奈良初期第43代天皇(女)。

⑧“たくさんになると”(一旦增多，便……)，此处的“たくさん”作名词用。

⑨“銀行に預金があれば、お金と同じはたらきをする小切手などを使うことができます。”(如银行有存款，可以使用与钱具有同等作用的支票。)*“はたらきをする”，词组，意为“起作用”。

⑩“句子+ということだ”，惯用型，表示“据说……”